

プレスリリース 2019年7月17日

### GWI「教育を通して平和を」会議に世界と地域の専門家らが参集

スイス、ジュネーヴ 2019年7月17日発 - GWIは2019年7月25日～28日にスイス、ジュネーヴで開かれる3年ごとの第33回総会と百周年大会を告知することを誇りに思う。「教育を通して平和を」のテーマのもとGWIは設立100年を祝い、教育による世界平和と友好に対する創始者のビジョンをたたえる。GWIは、会議のテーマに沿って平和、教育、人権分野における世界の指導者たちが語るプログラムを主宰する。

GWI 会長 Geeta Desai が総会の口火を切る。続いてスイス大学女性協会会長、地元準備委員会議長 Doris Boscardin とスイス国会議員 Lisa Mazzone の挨拶がある。UNESCO 男女平等局長 Sanie Gulser Corat 夫人が「教育と平和のつながり」について\*注、ジュネーヴ大学男女平等部長 Brigitte Mantillieri が「教育—女性不信に対する手段」について初日の基調演説を行う。7月27日土曜日にはネルソン・マンデラ Nelson Mandela の孫娘 Zamaswazi Dlamini Mandela が教育による平和について彼女の見解を述べる。

職業的専門家たちや独立専門家たちがこの4日間の期間中にメインテーマに加えて5つのサブテーマについて発表する。いかに教育が対立を防ぐ方向に女性や少女たちの地位を向上させるか、いかにカリキュラムが人権を擁護し、家父長制パラダイムを破壊するように進化するか、繋がった世界に生きるとは何を意味するか、いかにして若い専門家たちが教育、男女平等そして文化と環境問題のあいだの関連を理解する力をつけられるか、そして大卒女性たちが地球社会に影響を与えるために、教育、平和、唱道活動や行動が交叉する地点で尽力することにより地域の、自国の、世界の政策に対して何ができるか、以上5つのサブテーマをめぐって会議出席者たちの知識を増やすことを目的とする。

Desai はこう述べている。「参加の方々にはこの会議によって情報を得、熱くなり、短期目標以上に目を向け、教育や平和に関する政策や立法上の協議事項に関与する決意を新たにしていきたい。持続可能な開発目標 2030、特に質の高い教育と男女の平等に関係する SDG 4 と 5 を支援する行動の推進に熱心となっていただきたい。これらが持続可能な開発の立体像を経済的、社会的そして環境的に集大成し調和をとるのです。」

GWI はスイス、ジュネーヴに本部をおく会員制に基づく国際 NGO であり、会員は 60 以上の国々に存在する。1919 年に創立された GWI は女性の権利、平等そして質の高い教育や高度なレベルまでの訓練の機会を通じたエンパワメントを唱道する、主要な女兒と女性の世界的組織である。GWI は ECOSOC の特別（または特殊）協議資格をもち、UNESCO 及び ILO と公式関係を維持している NGO である。

\*注 ヨーロッパ酷暑のためパリからの列車が当日不通で Corat 夫人の来場が叶わず、講演は中止となった